

1. 建物概要

建物名称	ORC大塚水産株式会社新工場 建設工事(変更)	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★
------	-------------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点		取組み度					評価		
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.4	/5	    					ふつつ		
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.0	/5	    					ふつつ		
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.7	/5	    					がんばろう		
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.4	/5	    					がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例		よい 4 点以上		ふつつ 3 点以上		がんばろう 3 点未満	
										

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.4
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④高耐久性の外壁仕上材を採用して更新間隔を長期化。 ④更新間隔が長期の内装仕上げ材を採用。 ④高耐久性の設備配管を採用して更新間隔を長期化。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 3 3.2 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑦高性能断熱材の採用。	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制	
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマ、節水型便器の採用。 ⑪井水の利用に取組んでいる。 ⑫リサイクル内装材の採用。 ⑬外壁材が躯体と容易に分別可能。 ⑬有害物質を含まない建材の採用。	LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 2.1.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.1.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.1.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.1.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.1.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.1.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒	
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭LCOO2の排出削減に取組んでいる。	LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	3.0
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰機械設備の耐震設計がS及びAクラス。	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備	
	“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)	得点	2.7
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳ゆとりのある階高を確保。	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり 3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ	
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3.1 ⑳ 地域性への配慮、快適性の向上	
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	2.4
	■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 ② 生物環境の保全と創出 2 ② まちなみ・景観への配慮 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	■敷地外環境対策 (㉕温熱環境悪化の改善)	LR-3 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善	